

眼科に通院中の患者さんへ(臨床研究に関する情報)

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。このような研究は、厚生労働省・文部科学省の「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」の規定により、対象となる患者さんのお一人ずつから直接同意を得るのではなく、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

研究課題名 中心性漿液性脈絡網膜症の再発に関する多施設後ろ向き観察研究

研究責任者 兵庫医科大学 眼科 五味文

(共同研究機関と施設責任者)

| | |
|--------------|-------|
| 名古屋市立大学眼科 | 安川力 |
| 市立札幌病院眼科 | 木下貴正 |
| 徳島大学眼科 | 三田村佳典 |
| 福井大学眼科 | 高村佳弘 |
| 奈良医科大学眼科 | 緒方奈保子 |
| 三重大学眼科 | 近藤峰生 |
| 聖マリアンナ医科大学眼科 | 高木均 |
| 防衛医科大学眼科 | 竹内大 |
| 滋賀医科大学眼科 | 柿木雅志 |
| 筑波大学眼科 | 岡本芳史 |
| 鹿児島大学眼科 | 坂本泰二 |
| 神戸大学眼科 | 楠原仙太郎 |
| 住友病院眼科 | 穂積健太 |

研究の目的

中心性漿液性脈絡網膜症とは中年男性に多く発症する病気で黄斑部に網膜剥離を生じます(網膜の中心部に水がたまる)。無治療で改善することもよくありますが、病気が長引いたり(遷延化)、再発したりすると黄斑部が傷んで視力障害が残存することがあります。国内において遷延化や再発の原因を調べた大規模な多施設調査はなく、本研究は多施設多数例における研究により、中心性漿液性脈絡網膜症の遷延化や再発に関係する危険因子を明らかにすることを目的とします。これによって適切な診療方針や治療法の選択につながる有益な情報が得られることが期待できます。

研究の方法

1 対象となる患者さん

2013年4月1日から2019年6月30日までに当科を初診し、中心性漿液性脈絡網膜症と診断され、3

カ月以上通院を継続された方。

2 利用するカルテ情報

年齢、性別、再発の有無、ステロイド使用の有無、喫煙の有無、視力、眼底所見、画像所見、治療方法を調査します。

個人情報の取り扱い

この研究について、研究計画や関係する資料、ご自身に関する情報をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体に支障となる事項以外はお知らせすることができます。

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

※上記の研究に診療情報を利用することをご了解いただけない場合は、ご連絡ください。

【お問い合わせ先】

北海道札幌市中央区北 11 条西 13 丁目
市立札幌病院眼科